

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成25年 6月 3日現在

機関番号：24301
 研究種目：挑戦的萌芽研究
 研究期間：2011～2012
 課題番号：23652072
 研究課題名（和文） 在仏『北斎漫画』解説と、ギメ、オルセー両美術館蔵「日本関連文献」の総合的研究
 研究課題名（英文）Interpretation of *Hokusai Manga* and Research on Literature Related to Japan Owned by Musee Guimet and Musee d'Orsay" (in France)
 研究代表者
 柏木 加代子 (KASHIWAGI KAYOKO)
 京都市立芸術大学・美術学部・教授
 研究者番号：10128689

研究成果の概要（和文）：

ニース、シュレ美術館蔵『北斎漫画』第15編は、原表紙なし、厚手の白い紙で後補、ホチキス止め、書型は半紙本の横裁断前と思われる大きさ（縦 22.7×横 17.8 cm）、表紙にペン書きで、“Printer's Proof Hokusai Manga Vol XV”と記され、収集者自身が「見本刷」と認識した、稀有な資料であることが判明した。またエコール・デ・ボザール資料館が1907年以来所蔵する、トロンコワ・未公開コレクション（日本美術品）の研究で、肉筆絵画58点、浮世絵355点、絵本（版本）45点の詳細を明らかにした

研究成果の概要（英文）：

The 15th volume of *Hokusaimanga* (owned by Musee de Beaux-Arts, Nice) has no original front cover but has a back cover, and is stapled and covered with a thick white paper. The format is that of *hanshi* paper before being cut (22.7×17.8cm). The owner of the collection regarded the volume, with “Printer's Proof Hokusai Manga Vol. XV” written on the cover of the double page, as specimen pages, and it has proved to be an extremely precious datum. Furthermore, the details of 58 paintings, 355 *ukiyo-e*, and 45 *ehon/hanpon* (books and albums of wood block prints) of the unreleased Emmanelle Tronquois collection of Japanese fine art (1855-1918, owned by Ecole des Beaux-Art since 1907) are revealed.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	2,800,000	840,000	3,640,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学(英文学を除く)、仏文学

キーワード：

トロンコワ・コレクション、エコール・デ・ボザール 資料館、ジャポニスム、北斎漫画、ニース・シュレ美術館、ルーヴル美術館、19世紀から20世紀にかけての日仏文化交流

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、専門であるフロベール研究で、パリ第IV大学（1983年）とパリ第8大

学（1999年）で文学博士号を取得。とりわけパリ第8大学での草稿研究は、「フロベールとジャポニスム」論に発展し、『北斎漫画』

の分析のきっかけとなったニース図書館司書 Maryvonne Pesteil 氏からの学術資料の提供を受けることになった。

それらの文献を基盤とした研究をフランスでの国際学会（於 Cerisy la Salle, 2006 年 6 月）で発表、さらにジャポニズムに関しての研究を深めた論考を *Bulletin Flaubert-Maupassant*（2011 年）誌上に掲載した。

また、研究代表者は、京都画壇の猛者、土田麦僊の芸術を彼の滞仏期間（1921 年から 1923 年）に焦点を絞って研究し、2001 年大阪大学に博士論文『土田麦僊 愛の書簡をめぐって』（『かきつばた 土田麦僊の愛と芸術』として大阪大学出版社から 2003 年刊行）を提出した。

本論文は、パリ・ギメ美術館前館長 François Jarrige 氏のご厚意によって、当時未公開であった『ゴッホの芳名録』（2009 年ギメ美術館元学芸員尾本圭子氏によって刊行）の提供を受け、「麦僊自筆のサインのある頁」をいち早く拙著『かきつばた』の中で国内外に公表した。

さらに、オルセー美術館図書館においても麦僊の滞欧時代である 1920 年代を中心に、横山大観、竹内栖鳳など貴重な日本語文献なども閲覧できた。しかしこうした日本文化についての資料が仏語訳もされず、未だ手付かずの、実に遺憾な状態で温存されているのは、日本文化の海外評価にとってゆゆしい事態である。

研究の対象となった、ニース・シェレ美術館蔵『北斎漫画』は、ジャポニズムのフランス受容の発端となった『北斎漫画』そのものではなかったのか？この問いが、研究代表者がフロベール研究を通して確認した、貴重な「在仏日本関連文献」の発掘と資料分析を目的とした、本研究開始当初の背景である。

2. 研究の目的

1928 年に創設されたニースのジュール・シェレ美術館は、日仏友好記念の年である 2008 年に当館が、美術品収集家として高く評価された Joseph Raphaël Vitta (1860-1942) 男爵から 1935 年に寄贈された『北斎漫画』の初公開を予定していたが、調査が不十分で間に合わず、2015 年度（予定）に延期することになった。

そのため 2008 年、シェレ美術館の意向を受けたニース図書館 Maryvonne Pesteil 氏から研究代表者にニース・シェレ美術館蔵『北斎漫画』全 15 巻の墨筆記述（手書きの文字）部分の解説と翻訳が直接依頼されたが研究費は皆無であった。本研究の初年度の目的

はシェレ美術館からのこうした要請に対処するためであったが、これらの研究には実地踏査をはじめ、専門スタッフも必要であった。

北斎研究は予定通り施行されたが、2 年目には、エコール・デ・ボザールを中心としたパリの諸研究機関が所蔵する日本関連未公開、未整理文献の詳細調査を実施し、新たな資料を発掘し、翻訳（仏訳および和訳）を行うことで、新たな知見の発掘に寄与することを目的とした。

つまり、日本人フランス文学者として後進のために、ジャポニズム研究のための『北斎漫画』、膨大なトロンコワ未公開資料の公開をはじめ、在仏日本関連資料の収集とその翻訳・分析研究を果たすことが本研究の目的であった。

3. 研究の方法

『北斎漫画』全 15 巻の墨筆記述（手書きの文字）部分の解説と翻訳を中心に検証した。さらにパリ・ギメ美術館とオルセー美術館（資料館）が所蔵する日本関連資料の詳細調査を実施し、翻訳（仏訳および和訳）を行い、オルセー美術館図書館に翻訳文献を寄贈した。今回依頼のあった『北斎漫画』第 15 巻が貴重な「見本刷り」であったことを認定するにいたったのは、実地踏査による、全 15 巻の初刷りととの緻密な比較研究による。

Braquemond が Delatour の店で出会ったジャポニズム伝説の『北斎漫画』とシェレ美術館蔵『北斎漫画』との同定も視野に入れた研究であった。

さらに、ジャポニズム研究を深め、エコール・デ・ボザールが手つかずの状態で作成するトロンコワ・コレクション（日本文化関連資料 500 点）について詳細な研究を遂行した。「トロンコワ・コレクション」の詳しい分析（制作年、選択された理由、フランス移入年など）を順序立てて行い、トロンコワ・コレクションがルーヴル美術館の当時の学芸員 Gaston Migeon から寄贈された経緯などを分析した。19 世紀末の日本で、陸軍砲工学校フランス語教師として教鞭をとり、講演をおこなっていた、ボザール卒業生でもあったトロンコワが、どのような意図でこうした美術品を収集したのか、どうしてルーヴル美術館からボザール資料館に、それらの稀有で貴重な作品が寄贈されたかについて、当時のフランス文芸美術界の背景も含めて、詳細な検討をおこなった。さらに、20 世紀はじめの、ほぼ同時期にトロンコワ・コレクションを入手したギメ美術館、アール・デコ図書館などを調査し、トロンコワの収集活動の文化的背景、文学的な基盤を分析することによって、日仏両文化の差異の正確な位置づけを図った。

4. 研究成果

1) シェレ美術館所蔵の『北斎漫画』15編15冊は、痛み・手ずれ・虫損が見られるものの、全体としては刷りの状況の良好な本が取り合わせられていると言える。各冊に貼られたシール、英文の補記、その他の書き入れ等から、3ないし4のグループにその伝来経路を分類することが可能である。とくに注目されるのは、12編と15編である。他のすべての本が淡彩色刷りであるなかで、第12編は墨刷りで刷りの状態がよい(墨刷りは初刷と言われている)。また15編は、原表紙なし、厚手の白い紙で後補、ホチキス止め、書型は半紙本の横裁断前と思われる大きさ(縦22.7×横17.8cm)、紙縫りで仮綴じされていて、扉の表題の部分(一般には「北斎漫画十五編」と彫られている)部分が、全く彫られていなく、表紙にペン書きで、“Printer’s Proof Hokusai Manga VolXV”と記され、収集家が「見本刷」と認識した稀有できわめて重要な一本であることが判明した。

フランスにおいて「ジャポニスム」の発端と目される『北斎漫画』とエッチング画家Félix Braquemondとの劇的な出会いは伝説化されている。Braquemondが彼の作品の印刷者Delaunayの店で『北斎漫画』と遭遇したのは1856年頃で、日本からの陶器輸送のためのパッキングとして絵本『北斎漫画』が使用されたと伝承されてきた。それに対して、「1856年は開国直後で、陶器をつめた荷物がまだパリにあるはずがない」とした指摘や、「Braquemondの記憶の誤り」であるとしたさまざまな異説が唱えられていたが、本研究によって、シェレ美術館の『北斎漫画』が、Braquemondが出会った『北斎漫画』原本である可能性が高くなった。

2) 研究代表者は、1999年に、Ecole nationale supérieure des beaux-arts de Paris (パリ・エコール・デ・ボザール)と京都市立芸術大学との国際交流を立ち上げ、その提携事業を通じてエコール・デ・ボザールの学長、副学長そして諸教授との親交を深めた。両学学生交流12周年を記念して、研究代表者が企画、2012年2月に開催した「エコール・デ・ボザール留学生展」に招聘(これは本研究費の対象ではない)のボザール副学長Gaïta Leboissetier氏から、1907年にボザールに寄贈されたトロンコワ・コレクションの存在を知らされ、その文献的調査と分析を委任されたのは、本研究課題にとっては、実に幸いなことであった。

2012年9月24日、研究代表者がパリ国立高等美術学校での調査を始める準備段階として、当館日本美術品責任者であるDominique Vandecasteele氏が事前調査を実施した。作品の調査に携わったのは、国立文化財研究所 (l’Institut National du Patrimoine) グラフィックアート専攻2回生の学生たち、Caroline Bedos, Céline Delattre, Rémy Dreyfuss,

Marie Poirot, Louisiane Riosの5名、Valérie Lee教授の指導のもとで、修復(現状の点検)作業をおこなった。作業結果(作品の現状)の詳細については、『パリ国立高等美術学校「トロンコワ・コレクション」調査報告』、平成24年度分研究成果報告書で報告した。

このコレクションは、当時日本美術に傾倒していたルーヴル学芸員Gaston Migeonが、1907年9月30日に、Robert Lebaudyの名で寄贈品として、ボザールに配分した文献と美術品で、搬入時の資料によると、「書籍(図版入りを含む)が73点、掛物70点、版画356点」にのぼる。なお当コレクションはルーヴル美術館から東洋部門が廃止された折に4つに分割され、パリ国立図書館、ギメ美術館、アール・デコ美術館にもそれぞれ分与されたことが確認された。

その数膨大で、未公開という点でも貴重な資料であるLe Baudy-Tronquois「ル・ボディートロンコワ」コレクションのボザール資料館(Archives de l’Ecole)への寄贈経緯は、

- ① 1907年9月30日、ルーヴル美術館学芸員ガストン・ミジョン(Gaston Migeon)によってロベール・ル・ボディ氏(Monsieur Robert Lebaudy)の名の下にボザールに寄贈を予告されたトロンコワ・コレクションは、書籍73巻、掛物70点、浮世絵356点である。
- ② 1907年10月23日 美術省(le ministre des Beaux-Arts)から認可される。
- ③ 1907年11月2日: ガストン・ミジョンへの確認書簡。
- ④ 1907年11月2日: ロベール・ル・ボディへの確認書簡。ロベール・ル・ボディ氏の寄贈(Dons R. Lebaudy)受け入れは、1908年2月10日。

コレクション細目について2012年度、ボザール資料館での作品考察によって判明した事項:

- ①・ボザール資料館が1908年から収蔵する浮世絵は355点で、搬入された当時の資料356点から、北斎版画が1点欠落する。版画Estampesの解説によれば、国芳の作品21点(Est 4696-4716)が国貞の表記になっている。
 - i) 34313, 広重 133点 (Est4407-4539)
 - ii) 34312, 国貞 87点 (Est 4540-4626)
 - iii) 34315, 豊国 32点 (Est 4627-4658)
 - iv) 34316, 北斎 34(35)点 (Est 4659-4692)
 - v) 34317, 国貞 24点 (一雄斎国貞: Est 4693-4695)

- 一勇齋国芳: Est 4696-4716)
- vi) 34318, 国貞 11 点
(紫蝶楼国貞 Est 4717-4727)
- vii) 34319, 豊国 II 4 点
(Est 4728-4731)
- viii) 34320, 歌麿 14 点
(Est 4732-4745)
- ix) 34321, 豊国 16 点
(Est 4746-4761)
- ② 「掛け物」58 点(搬入時には 70 点)についての検証結果は以下のとおりである。
- 37263 物語図 Scène de récit
- 37264 鍾馗図 Dieu Shoki chassant un monstre
- 37265 月下訪問図 Visite sous la lune
- 37266 福祿寿図 Fukurokujyu, un des sept dieux du bonheur
- 37267 台所図 4 femmes à la cuisine
- 37268 楼閣山水図 Petite maison dans un paysage traditionnel de montagnes et de rivières
- 37269 入江図 Baie
- 37270 孤舟山水図 Bateau isolé dans un paysage traditionnel de montagnes et de rivières
- 37271 高砂図 Couple de vieillards représentant une longue vie
- 37272 太夫図 Courtisane
- 37273 観月美人図 Beauté regardant la lune sur une barque
- 37274 武人奉玉図 Guerrier offrant le globe au dragon
- 37275 売花図 Marchand de fleurs
- 37276 七神図 Les sept dieux du bonheur
- 37278 福祿寿図 Fukurokujyu, un des sept dieux du bonheur
- 37279 灯火図 Source de lumière
- 37280 立美人図 Courtisane
- 37281 漁夫図 Pêcheur
- 37282 十二支図 Douze animaux de l'almanach
- 37283 立美人図 Beauté debout avec une pipe longue
- 37284 山犬図 Renard sous la lune
- 37285 夏景山水図 Paysage traditionnel de montagnes et de rivières, en été
- 37286 男女奏笛図 Couple jouant de la flûte
- 37287 山中鹿鳴図 Cerf bramant à la berge
- 37289 東方朔図 Touhyousaku, homme de lettres chinois
- 37292 春山図・梶葉図 Montagne printanière, Feuilles des arbres-kaji

- 37293 俗体肖像 Portrait d'homme
- 37294 立美人図 Beauté debout
- 37295 太夫図 Courtisan
- 37296 牛若天狗図 Usiwakamaru et spectre (Tengu)
- 37298 猫に美人図 Beaute avec le chat
- 37300 立美人図 Beauté debout avec une pipe longue
- 37301 高僧像 Portrait de prélat(bonze vertueux)
- 37302 花扇使者図 Messagère avec le bouquet des 7 sortes de fleurs suivie des 2 escortes
- 37303 達磨図 Bodhidharma
- 37304 男女図 Portrait d'un couple
- 37305 舞美人図(静御前)Belle danseuse
- 37306 舞役者図 Danseuse
- 37307 立美人図 Courtisane
- 37308 立美人図 Courtisane
- 37309 立美人図 Courtisane
- 37312 立美人図 Courtisane
- 37313 立美人図 Courtisane avec un éventail
- 37314 立美人図 Courtisane avec un shamisen
- 37315 二美人図 Deux beautés
- 37316 人形操り図 Manipulateuse de marionnette
- 37317 唐子遊亀図 Enfants habillés à la façon chinoise jouant avec une tortue
- 37318 立美人図 Beauté debout
- 37319 武家肖像 Guerrier et dragon
- 37320 立美人図 Beauté debout
- 37321 柴刈美人図 Tondeuse du gqzon
- 37322 立美人図 Beauté debout
- 37323 武家肖像 Portrait d'un samourai
- 37324 坐り美人図 Courtisane avec un shamisen
- 37325 立美人図 Beauté debout avec le chien
- 37326 義太夫美人図 Belle gidayuu avec le chat
- 37327 南国美人図 Beauté du pays du nord
- 37328 追鷹図 Chasse au faucon

③絵本(版本)(搬入時は73点)は45点(目録番号 34324 から 34378. 他のコレクションは 34325 から 34329, 34333 から 34334, 34338 から 34340)に関しては、ボザールから提供を受けた Christophe Marquet 氏作成の目録を基盤に、書名、作家、刊行の簡易目録を作成し、研究報告書に掲載した。

本研究では、まず、19 世紀末の日仏文化交渉を、明治維新以来の海外に流出した日本の

芸術・文化財のフランスにおける基盤的環境を整えることで把握し、さらに、どのようにトロコワ・コレクションの細目が、どのように日本に滞在したトロコワによって選択・決定されたのか、コレクションのそれぞれの資料分析・調査によって、その歴史的、文化的、社会的背景を明確にすることができた。

『北斎漫画』につづく在仏「日本関連研究」は、日仏両国の文化関係者の協賛によってはじめて実現可能となる、研究代表者が長年邁進したフランス文学研修の恩恵に浴した、さまざまな方面の文化人の共同作業によって成就した斬新で希有な研究である。

その成果として、フランスが埋蔵する日本文化にかかわる文献(未完の資料を含むが、その一部分であるが)を後世へ伝承するきっかけを作ることができた。2010年10月20日に「古今和歌集」(約1100首、甲南女子大学所蔵)が「完本」であったことが日本国内で確認されたところであるが、本課題では、Braquemond が出会った『北斎漫画』と本研究対象の『北斎漫画』との同定、さらに未公開の基調で膨大な資料であるトロコワ・コレクションの文献翻訳・分析による新たな知見の発掘となった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

1) Kayoko KASHIWAGI, *La Manga de Hokusai conservee au Musee Cheret de Nice*, 『京都市立芸術大学研究紀要』第57、2012年、59-62頁。

2) Kayoko KASHIWAGI, *Flaubert et le japonisme etude sur Le Chateau des Coeurs*, in *Les Voyages de Flaubert*, Bulletin Flaubert-Maupassant, 25-2010, 2011, pp. 107-129.

3) 柏木加代子、「ニース・シエレ美術館蔵『北斎漫画』について」『京都市立芸術大学研究紀要』第56号、2011年、79-82頁。

[学会発表](計1件)

柏木加代子、退任記念講演会「フロバールと芸術」、於、京都市立芸術大学・大学会館交流室、2013年、1月30日。

[図書](計1件)

柏木加代子、パリ国立高等美術学校「トロコワ・コレクション」調査報告、平成24年度分研究成果報告書、2012年、全66頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

柏木 加代子 (KASHIWAGI KAYOKO)
京都市立芸術大学・美術学部・教授

研究者番号：10128689

(2) 研究分担者
()

研究者番号：

(3) 連携研究者

飯倉 洋一 (IIKURA YOICHI)
大阪大学大学院・文学研究科・教授
研究者番号：40176037